

平成 2 7 年度 事業 報告

平成 2 7 年度は、これまでの取組みの成果を生かし、7 月に世界遺産に登録された「橋野鉄鉱山」など、タイムリーな話題を捉えた情報発信に加え、秋冬期の大型観光キャンペーン等の効果もあり、観光客の入込数は、県全体としては、前年度と同程度に推移しているが、沿岸地域は震災前の 8 割程度の回復状況となっている。

一方、外国人観光客については、岩手と台湾を結ぶ定期チャーター便が継続して運航されるなど、台湾からの入込を中心に、他の市場もあわせ、震災前の水準を上回ったところであるが、全国との比較では東北全体が引き続き厳しい状況にあり、海外に向けた誘客活動の強化が課題となっている。

こうした状況の中、当協会は、県や関係機関と連携して大都市圏での観光 PR の実施や誘致説明会の開催、秋冬期や沿岸地域への送客を重視した旅行商品造成への支援、沿岸地域を視察対象とする旅行会社の招請事業の実施に加え、新たに魅力ある観光地づくり支援事業を実施し、地域の特色を生かした取組みを支援した。

また、教育旅行の誘致拡大を図るため、北海道（函館市・札幌市）、東京都及び大阪府において誘致説明会を開催するとともに、新たな市場の開拓に向けて訪問調査を行った。

このほか、前年度に引き続き、外部資金を活用して観光人材の育成や事業者の経営革新等への支援事業を実施した。

更に、国際観光の分野においては、台湾観光客に加え、訪日旅行者が急増しているタイへの情報発信のため、現地メディアの招請事業を新たに実施し、海外からの誘客拡大に取り組んだ。

その他の事業においても、県や市町村及び各観光協会並びに観光関係団体と連携し、本県の魅力ある観光資源の宣伝と観光客の誘致拡大に取り組んだ。

I 【 情報発信 】

1 観光情報高度化推進事業

(1) 観光情報高度化推進事業

岩手県観光ポータルサイト「いわての旅」の管理運営を行い、各種祭りやイベント等をはじめ、桜等の季節の情報や、「いい旅いわておもてなし旅行&クーポン」、「釜石橋野鉄鉱山の旅特集」、「いわて秋冬期観光キャンペーン」ページを掲載したほか、ARアプリを利用して動画による観光情報の発信に努めた。

また、トップページにバナー広告を募集し掲載した。(4月～6月9社、7月～9月10社、10月～12月7社、1月～3月6社掲載)

年 度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
アクセス件数 (対前年度比)	2,405,064 件 (29%増)	2,558,466 件 (6.4%増)	3,163,307 件 (23.6%増)

(2) 観光情報システム分担金事業

(公社)日本観光振興協会のHP“全国観るなび”を利用して、本県の観光情報を発信した。

2 パブリシティ有効活用事業

各種広告媒体を活用し、本県の観光情報について東北各県及び首都圏を中心として全国に向けて発信した。

掲載年月日	雑誌等広告媒体名	発行部数等	内 容
H27.6	ごほうび女子旅 夏号	5万部(首都圏)	三陸鉄道北リアス線沿線の見どころ・立ち寄りスポットの紹介
H27.9	ノジュール9月号同 梱版「岩手浪漫紀行」	2万部(首都圏)	いわて秋期観光キャンペーンPR 「味覚・温泉・紅葉」及び世界文化遺産「橋野鉄鉱山」の紹介
H27.10 ～H27.12	開運橋開運ビジョン	14回/日(期間中 1,260回放映)	いわて秋期観光キャンペーンPR わんこきょうだいのうたプロモーションビデオの放映
H27.12	タウン情報誌7誌 12月号 (アキュートほか)	18万部(東北6 県及び栃木県)	うまっ!いわて秋冬期観光キャンペーンPR・ウインターリゾート 岩手(いわてウインターリゾート 協議会構成員スキー場)の紹介等

3 観光宣伝媒体作成事業

本県への観光客の誘致拡大を図るため「いわて旅地図」を作成した。

- ・ いわて旅地図(作成部数 240,000部)

4 観光キャラクター活用事業

岩手県のPRキャラクター“わんこきょうだい”のグッズを各種観光キャンペーン等において配布するとともに、県内外に販売し、岩手県の観光イメージのPRを図った。

- ・ 販売個数 わんこきょうだい携帯ストラップ 3,568 個
わんこきょうだいシール 812 個
わんこきょうだい缶バッジ 2,815 個
そばっちぬいぐるみ 703 個
そばっちぬいぐるみストラップ 1,523 個

II 【国内誘客対策】

1 観光客誘致促進事業

(1) 観光客誘致説明会

首都圏及び名古屋圏の旅行会社の旅行商品造成・仕入担当者等に対して、岩手県の魅力ある観光資源を紹介・宣伝するとともに、県内の観光・宿泊施設、行政及び観光関係団体等との商談を通じて、旅行商品化を促進し、本県への観光客誘致拡大を図るため、いわて観光キャンペーン推進協議会との共催で、東京都中野区及び愛知県名古屋市の2地区において開催した。

また、「説明会」・「商談会」終了後に「交流会」を開催し、岩手の地酒・ワイン等を味わっていただくとともに「岩手まるごとおもてなし隊」による観光PR・パフォーマンスを披露した。

会 場	実 施 日	参加状況
東京会場 中野サンプラザ	H27. 9. 16	旅行会社（18 社 41 名）、岩手県側（66 名） 専務理事参加
名古屋会場 名古屋東急ホテル	H27. 11. 17	旅行会社（11 社 20 名）、岩手県側（52 名） 専務理事参加



東京会場の様子（H27. 9. 16）



名古屋会場の様子（H27. 11. 17）

(2) エージェント招待事業

実 施 日	招 待 者	主な視察先等
H27. 12. 17 ～12. 18 (1泊2日)	(株)読売旅行 国内旅行本部及び首都圏各支店職員 10名	・釜石市（釜石大観音、鉄の歴史館、橋野鉄鉱山） ・宮古市（宮古ホテル沢田屋〔沿岸地域観光事業者との「意見交換会」開催〕、魚菜市場、浄土ヶ浜遊覧船、学ぶ防災宮古〔田老地区震災語り部〕、浄土ヶ浜レストハウス、やまびこ産直館）



沿岸地域観光事業者との「意見交換会」の様子



世界文化遺産「橋野鉄鉱山」視察の様子

2 教育旅行誘致促進事業

教育旅行の誘致拡大を図るため、主要なターゲットである北海道函館市、札幌市及び東京都並びに大阪府において説明会を開催したほか、学校、旅行会社等への訪問活動を通じ、本県の教育旅行の受入態勢について紹介宣伝を行った。また、首都圏からの誘致活動を強化するため、昨年度立ち上げた教育旅行誘致宣伝部会首都圏支部とともに本県で修学旅行を実施した中学校、高校に対するフォローアップの訪問活動を行った。

このほか、本事業の効果的な推進を図るため、観光情報や体験学習メニューを紹介する教育旅行用ガイドブック『体感！感動！ワクワクいわて』を作成した。

ア 岩手県修学旅行誘致説明会

開 催 地	実施日	参 加 状 況
東京会場（ホテルメトロポリタンエドモント）	H27. 8. 21	来賓関係（2団体4名）、首都圏の中学校の担当教諭（1校1名）及び旅行会社等の教育旅行担当者（5社15名）、岩手県側（73名）、県商工労働観光部副部長、安藤部会長及び専務理事参加
函館会場（ロワジュールホテル函館）	H27. 9. 8	函館市及び周辺の中学校の担当教諭（7校7名）及び旅行会社等の教育旅行担当者（5社9名）、岩手県側（82名）、理事長、安藤部会長及び専務理事参加

札幌会場(ニューオータニイン札幌)	H27. 9. 9	来賓 (1 団体 1 名)、札幌市及び周辺の中学校の担当教諭 (10 校 14 名) 及び旅行会社等の教育旅行担当者 (6 社 15 名)、岩手県側 (84 名)、安藤部会長及び専務理事参加
大阪会場(ホテル大阪ベイタワー)	H27. 12. 2	来賓 (2 団体 2 名)、関西圏の高等学校関係者 (8 校 9 名) 及び旅行会社等の教育旅行担当者 (6 社 22 名)、岩手県側 (60 名)、理事長、安藤部会長及び専務理事参加



【函館会場】谷村理事長挨拶の様子



【大阪会場】商談会の様子

イ 訪問活動

① 首都圏

実施日	訪 問 先	訪 問 者
H27. 7. 29 ～7. 31	日本修学旅行協会、全国修学旅行研究協会 (来賓 2 団体)、東京都内の旅行会社 (5 社)、中学校及び高等学校 (8 校)	9 名 (県観光課、県東京事務所、専務理事、教育旅行誘致宣伝部会幹事長、同首都圏支部、事務局)
H27. 12. 14 ～12. 16	神奈川県、千葉県及び埼玉県の各教育委員会事務局、中学校及び高等学校 (4 校)	4 名 (県観光課、県東京事務所、教育旅行誘致宣伝部会幹事長、事務局)

② 北海道

実施日	訪 問 先	訪 問 者
H27. 7. 15 ～7. 17	北海道教育庁、札幌市教育委員会事務局、北海道中学校長会会長、札幌市中学校長会会長、函館市中学校長会会長、旅行会社 (函館 5 社、札幌 6 社)	4 名 (県観光課総括課長ほか 1 名、教育旅行誘致宣伝部会幹事長、事務局)

③ 大阪府

実施日	訪 問 先	訪 問 者
H27. 9. 30 ～10. 2	大阪府教育委員会事務局、大阪府府民文化庁、大阪府高等学校校外学習研究会会長、旅行会社 6 社	4 名 (県観光課、県大阪事務所、教育旅行誘致宣伝部会幹事長、事務局)

④ 福岡県

実施日	訪 問 先	訪 問 者
H28. 2. 15	福岡県教育庁、旅行会社 8 社	5 名（県観光課、県地域振興室、県福岡事務所、三陸鉄道㈱、事務局）

⑤ 石川県

実施日	訪 問 先	訪 問 者
H28. 3. 17	石川県教育委員会事務局、旅行会社 3 社	2 名（県観光課、事務局）

⑥ 富山県

実施日	訪 問 先	訪 問 者
H28. 3. 18	富山県教育委員会事務局、旅行会社 3 社	2 名（県観光課、事務局）

ウ 体験メニューガイドブック作成

名 称	作成部数
岩手教育旅行ガイドブック「体感！感動！ワクワクいわて」	2,000 部

3 旅行商品造成事業

県外観光客の本県への誘致を促進するため、旅行会社等が行う旅行商品の造成などへの支援を行った。

（支援数：4 企画）

団 体 名	企画名称	支援内容
パッケージ ツアー型	㈱ JTB ガイアレック	広告掲載料 等
	クラブツーリズム㈱	
	弘南バス㈱	
地域滞在型	㈱日本旅行 東北仕入販売センター	観光施設入 場券代等

Ⅲ【受入態勢整備】

1 いわての観光サポート事業

(1)「いわて観光おもてなしセンター」管理運営

協会内に「いわて観光おもてなしセンター」を設置して、手紙、電話、メール等により寄せられる本県の観光に係る苦情、意見・提言等に対応した。

ア 苦情等対応状況

区分	件数	主 な 内 容
意見	1 件	① 三陸観光応援バスツアー(コース 4)野田防災プログラムについて
要望	0 件	—
苦情	5 件	① 盛岡市内大型バス駐車場について ② 雫石町“松ぼっくり”(手作りアイスクリーム牧舎)の電話対応について ③ 東京事務所の対応について ④ 花巻市“いちごハウスたかはし”の対応について ⑤ 大船渡市“夏虫の湯っこ”の対応について
計	6 件	

イ 観光情報等問合せ状況

区 分	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
観光相談	1,576 件	1,634 件	1,878 件
資料送付	1,235 件	1,078 件	1,074 件
合 計	2,811 件	2,712 件	2,952 件

(2)「V」案内所運営等観光情報提供事業

国際観光振興機構の指定(H16.3.26)を受けて当協会事務局内に設置している「V」案内所において、外国人旅行者に対して観光情報を提供するとともに、国内旅行者に対しても観光情報を提供するため嘱託職員 1 名を配置している。

区 分	平成 27 年度
問合せ別件数	窓口：6 件 電話：0 件 FAX：0 件 電子メール：35 件
内容別件数 (重複あり)	イベント・個人旅行・観光一般：8 件 印刷物：29 件 交通：1 件 宿泊：0 件 食事：0 件 娯楽：0 件 生活、その他一般：3 件

2 いわて・盛岡広域観光センター(旧北東北観光センター)運営

本県の観光情報の提供を行い、本県を訪れる観光客の利便性の向上を図るため、JR盛岡駅 2 階南口にあるいわて・盛岡広域観光センターの運営経費の一部を助成した。

区 分	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
来 訪 件 数	23,449 件	20,596 件	19,108 件
電 話 ・ 書 面	644 件	669 件	538 件
宿 泊 案 内	944 件	921 件	1,001 件

3 観光土産品改善事業

観光産業の振興に重要な役割を果たしている観光土産品の品質向上を図るため、第 56 回岩手県観光土産品推奨審査会を開催し、観光土産品の推奨を行った。あわせて、ホームページ「岩

手県観光ポータルサイト「いわての旅」に推奨品を紹介した。

- ・ 推奨審査会 平成 27 年 11 月 11 日（水）
- ・ 推奨期間 平成 28 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日（2 年間）
- ・ 推奨点数 73 点（新規 22 点、更新 51 点）

4 ボランティアガイド育成事業

県内各地で活動する観光ボランティアガイドのガイド技術の向上とボランティアガイド団体相互のネットワーク化を目的に設立した「岩手県観光ボランティアガイド連絡協議会」（事務局：九戸城ボランティアガイドの会、加入団体 25（支援・サポート団体 13）に支援を行った。

5 観光業務優良従事者表彰

観光業務に従事する職員の意欲の高揚と資質の向上を図るため、「いわて観光の日」事業として、優良従事者表彰を行った。

- ・ 実施日 平成 27 年 5 月 18 日（月）
- ・ 会場 盛岡グランドホテル
- ・ 被表彰者 12 名



《宿泊施設関係》 5 名 (順不同、敬称略)

推薦団体	所 属	氏 名
(一社)花巻観光協会	花巻温泉(株) 経理部	八重樫 玲
(一社)一関観光協会	(株)斎藤松月堂 ホテルサンルート一関	小 山 仁 朗
東山町観光協会	(有)げいび観光センター 船舶運行部	伊 藤 修
	(有)げいびレストハウス グループ営業部	大 橋 隆 夫
	(有)げいびレストハウス ひがしやま観光ホテル	伊 藤 勇 五

《交通機関関係》 3 名

推薦団体	所 属	氏 名
(一社)北上観光コンベンション協会	(有)北上タクシー 乗務員	高 橋 忠 男
東山町観光協会	東磐交通(株) 乗務員	亀掛川 正 良
(公社)岩手県バス協会	岩手県北自動車(株) 観光バスガイド	松 尾 迪 代

《その他観光関連施設関係》 4名

推薦団体	所 属	氏 名
(一社)一関観光協会	世嬉の一酒造(株) 売店	遠 藤 希 子
	(株)斎藤松月堂 弁当部	鈴 木 喜美江
	(有)厳美溪レストハウス	佐 藤 千 代
	(有)いつくしだんご	小野寺 律 子

6 「おもてなしの心」向上研修事業

観光客を迎える接遇の向上を目指す「おもてなしの心向上研修会」を実施した。また、賛助会員が主催する接遇研修会に講師として「いわて観光おもてなしマイスター」を派遣する「接遇研修会講師派遣事業」を行った。

ア おもてなしの心向上研修会

日本観光振興協会の支援事業（全国広域観光振興事業 平成 27 年度観光地域づくり・人材育成事業）を活用して実施した。

- ・ 実施日 平成 27 年 12 月 2 日（水）
- ・ 会 場 いわて県民情報交流センター（アイーナ）
- ・ 参加者 賛助会員・いわて観光おもてなしマイスター 65 名
- ・ 講 師 (株)ザ・アール 専属講師 武川加留子、福田佳織
- ・ 内 容 接客マナーの基本、コミュニケーション力の向上、指導法等

イ 接遇研修会講師派遣事業

実 施 日	実施団体	会 場	参 加 者
H27. 7. 22	北上観光コンベンション協会	北上商工会館	北上地区観光関係者 26 人
H27. 9. 1	西和賀町観光協会	湯夢プラザ	西和賀地区観光関係者 17 人
H27. 12. 1	岩手県旅館ホテル生活衛生同 業組合宮古支部	宮古ホテル沢田屋	宮古地区宿泊関係者 19 人
H27. 12. 17	キャピタルホテル 1000	キャピタルホテル 1000	キャピタルホテル 1000 職員 18 人
H28. 1. 28	軽米町観光協会	町立図書館	軽米地区観光関係者 16 人
H28. 2. 29	国民宿舎サンホテル衣川荘	衣川荘	衣川荘職員 9 人

7 「観光の日」事業

旧岩手県観光連盟が、西暦 2000 年を機に、5 月 16 日を県民一人ひとりが観光の持つ重要性を認識し、観光による地域づくりを考え、自ら取り組む契機となる「いわて観光の日」と定めたことから、この日を記念して講演会を開催し普及、啓発を図った。

- ・ 実施日 平成 27 年 5 月 18 日（月）
- ・ 会 場 盛岡グランドホテル
- ・ 出席者 81 名
- ・ 講 演 演題 地域のチカラをとことん活かす観光地づくり
講師 山形県米沢市小野川温泉 鈴の宿登府屋旅館 代表取締役 遠藤直人氏

8 観光産業人材育成等支援事業

いわて希望ファンド地域活性化支援事業助成金を活用し、観光関連事業者の経営革新や人材育成を支援した。

(1) おもてなし経営研修事業

観光関連事業者の経営革新を促進するため、経済産業省が推進している「おもてなし経営」を実践している企業の取組みを学ぶセミナーを実施した。

ア 「おもてなし経営」セミナー

- ・ 実施日 平成 27 年 12 月 1 日（火）
- ・ 会 場 ホテルメトロポリタン盛岡本館
- ・ 参加者 賛助会員 29 名
- ・ 講 師 (株)伍魚福 代表取締役社長 山中 勸氏
(株)浜野製作所 代表取締役社長 浜野 慶一氏
- ・ 内 容 経営革新の事例、人材育成を活用した経営の考え方、社員の連携、社員の意欲・能力向上、地域・社会との関わりなど取組みの事例等

(2) トヨタ生産方式によるコンサルテーション事業

事業者の経営革新を促進するため、業務効率の向上、社員の能力向上を目指し、トヨタ生産方式の改善の手法によりコンサルタントが事業者を直接助言指導する「現地指導」、また、「現地指導」を受けた事業者が、取組んだ改善活動を発表するセミナー（改善活動発表会）を実施した。更には、平成 25 年度・平成 26 年度同事業で「現地指導」を受けた事業者を対象とした「改善活動勉強会」を立ち上げ、それぞれ現地指導を受けたノウハウや改善活動の取組内容を現地で説明し、今後の業務改善活動となるよう支援した。

ア 現地指導

- ・ 期間・回数 平成 27 年 7 月～平成 28 年 1 月、5 回
- ・ 対象事業者 県内 5 社（宿泊施設 4 社、観光施設 1 社）
- ・ 指導者 一般社団法人中部産業連盟コンサルタント 2 名
- ・ 指導内容 経営幹部のヒアリング、トヨタ生産方式による改善の考え方、ムダの見つけ方、サービスの向上・課題改善にむけた助言指導等

イ セミナー 改善活動発表会

- ・ 実施日 平成 28 年 2 月 10 日（水）
- ・ 会 場 ホテル東日本盛岡
- ・ 参加者 賛助会員 103 名
- ・ 発表者 現地指導対象事業者 5 社の改善活動実践者 7 名
- ・ 指導者 一般社団法人中部産業連盟コンサルタント 2 名
- ・ 内 容 改善活動の発表（現状、課題、取組内容、成果、今後の活動）、指導者からの総括指導等

ウ 改善活動勉強会

- ・ 期間・回数 平成 27 年 9 月～平成 28 年 1 月、4 回
- ・ 対象事業者 県内 9 社（宿泊施設 6 社、物産販売 2 社、観光施設 1 社）
- ・ 指導者 一般社団法人中部産業連盟コンサルタント 2 名
- ・ 指導内容 トヨタ生産方式による改善の考え方（生産管理、在庫管理等）、データ分析の方法、サービスの向上・課題改善にむけた助言指導等

IV 【国際観光推進】

1 外国人観光客誘致宣伝事業

ア 国際旅行博への出展

第 23 回台北国際旅行博（ITF2015）に出展し、本県の観光宣伝を行った。

主 催	会期・会場	来場者数等	参加概要（岩手県）
(財)台湾観光協会	H27. 11. 6 ～ 11. 9 (4 日間) 台北世界貿易センター	348, 270 人 60 カ国・地域、850 団体出展	・ 東北ブロック広域観光振興事業推進協議会 (参加：岩手県、(公財) 岩手県観光協会、(一社) 花巻観光協会、NPO 法人体験村・たのはたネットワーク、安比高原、花巻温泉(株)、えさし藤原の郷、その他東北 6 県から参加。 ・ 日本観光協会主催商談会 (11/5) ・ ブースでの観光相談対応 (11/6～11/9)

イ 国際観光支援事業

台湾といわて花巻空港間のチャーター便の増便や定期便化の要請、台湾と本県の観光交流の拡大を図るため、ミッション団や観光 P R に参加した。

- ・ H27. 5. 22～5. 25 台湾国際観光博覧会（TTE2015）参加
- ・ H27. 6. 16～ 6. 19 知事を団長とする関係団体訪問及び観光 P R、専務理事参加

2 外国人観光客受入態勢整備事業

(1) 国際チャーター便歓迎行事等

いわて花巻空港を離発着する国際チャーター便（台湾）の運航に応じて、「花巻空港国際チ

「ヤーター便歓迎実行委員会」が、歓迎行事を実施した。

	平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度	
合 計	入国便数	入国者数	入国便数	入国者数	入国便数	入国者数
	26 回	3,964 人	48 回	5,000 人	23 回	2,349 人
春季（4～6 月）	10 回	1,447 人	23 回	2,454 人	17 回	1,497 人
夏季（7～9 月）	- 回	- 人	1 回	242 人	- 回	- 人
秋季（10～12 月）	6 回	906 人	15 回	1,129 人	6 回	852 人
冬季（1～3 月）	10 回	1,611 人	9 回	1,175 人	- 回	- 人



歓迎セレモニーの様子



歓迎行事（到着ロビー出迎え）

(2) 「V」案内所運営（いわて・盛岡広域観光センター（旧北東北観光センター））

J R 盛岡駅 2 階南口に設置されている「V」案内所の運営経費の一部を助成した。

(3) 台湾観光客受入態勢整備事業

いわて希望ファンドの助成金を活用して、本県を訪れる外国人観光客のうち、大半を占める台湾観光客の受入態勢を向上させ、一層の誘客につなげるため、旅行 AGT 等を招請して各施設に派遣し現地指導を行った。

実 施 日	実施内容	開催概要
H27. 10. 19～23 (4 泊 5 日)	専門家招請による現地指導 招請者 5 名	八幡平市～盛岡市～奥州市～一関市 ～花巻市



現地指導の様子



関係市（八幡平市長）を表敬訪問

3 北東北三県・北海道ソウル事務所管理運営

北東北三県及び北海道が、共同で設置した韓国ソウル事務所の運営管理を実施した。また、4道県が共同して実施した観光商談会に参加し、韓国旅行会社等に本県の観光資源を紹介宣伝するなど誘客の促進を図った。更には、韓国ブロガーや韓国AGTを招請し、情報発信や旅行商品造成の促進を図った。

ア 北東北三県・北海道韓国観光商談会

実施日	会場	参加者
H27. 10. 6	ソウルプラザホテル (大韓民国ソウル市)	韓国側AGT・マスコミ関係者等 70 社 137 名、 日本側企業 35 社 58 名 岩手県参加 八幡平ロイヤルホテル、平泉観光推進 実行委員会、安比高原リゾート、株式会社プリンス ホテル、花巻温泉株式会社、岩手県観光課、岩手県 観光協会

イ モニター招請事業

韓国内でアクセス数の高い人気ブログを作成しているパワーブロガー2名を招請して、スキー、日本酒、県産品をテーマに本県の魅力をHP等で広く情報発信した。

実施日	招請者	主な視察先等
H28. 1. 31～2. 3 (3泊4日)	ブロガー2名	雫石スキー場、小岩井農場、盛岡手づくり村、盛岡市内、あさ開き、花巻温泉、月の輪酒造、南部杜氏伝承館、サラダファーム、安比高原スキー場

ウ 韓国AGT連携ファーム事業

体験、食、自然などのPR、旅行商品の造成促進を図るため、青森県、秋田県と連携して、韓国旅行エージェント等を招請した。

実施日	招請者	主な視察先等
H27. 10. 24～10. 28 (4泊5日)	旅行会社等 6 社 6 名	田沢湖、佐藤養助漆蔵資料館、中尊寺、あさ開き、盛岡手づくり村、盛岡冷麺、小岩井農場、十和田湖、奥入瀬溪流、中野もみじ山、りんご狩り体験

4 台湾情報発信強化事業

台湾からの更なる誘客促進を図るため、台湾人が最も情報収集に活用されているwebやSNSでの情報発信を強化するため、嘱託職員を1名任用し台湾向け繁体字版のFB(フェイスブック)による情報発信を行った。

5 韓国旅行エージェント等招請事業

ゴルフと観光を組み合わせた新たな旅行商品を開発するため、韓国の旅行会社・マスコミ等を招請し、ゴルフ場及び観光地を視察した。

実 施 日	招 請 者	主な視察先等
H27. 5. 14～5. 16 (2泊3日)	旅行会社 4 社 4 名、マスコミ 1 社 1 名、ソウル事務所 1 名	金ヶ崎ゴルフ場、瀬美温泉、栗駒ゴルフ場、中尊寺、猊鼻溪、北上カントリークラブ

6 台湾航空会社等招請事業

外国人観光客誘致の有力マーケットである台湾における岩手県の知名度向上を図り、岩手県への更なる誘客を図るため、台湾の航空会社の役員等を招請した。

実 施 日	招 請 者	主な視察先等
H27. 4. 30～5. 1 (1泊2日)	航空会社 5 名、旅行会社 2 名	花巻温泉他

7 タイ情報発信事業

東南アジアの中で、訪日旅行者が急増しているタイにおける岩手県の知名度の向上を図るため、タイの有力な現地メディア及び著名人を招請し、本県での旅行記事の取材及び現地メディアへの掲載を図った。

実 施 日	招 請 者	主な視察先等
H27. 5. 13～5. 15 (2泊3日)	雑誌編集者 1 名、女優 1 名他	八幡平アスピーテライン、小岩井農場、浄土ヶ浜、猊鼻溪、中尊寺他

V 【 連携・支援 】

1 各種キャンペーン支援事業

(1) いわて観光キャンペーン推進費

いわて観光キャンペーン推進協議会負担金の支出及び同協議会が出展するイベント等に参加し観光PRを行った。

《主な対応状況》

実 施 日	場 所	イベント名等
H27. 4. 17 (金) ～4. 20 (月)	名古屋市	第2回日本各地の名産・観光巡りフェア
H27. 9. 5 (土) ～9. 7 (月)	函館市	はこだてグルメサーカス 2015
H27. 9. 24 (木) ～9. 27 (日)	東京都	ツーリズムEXPOジャパン 2015
H27. 10. 8 (木) ～10. 9 (金)	東京都、千葉県	首都圏秋季キャンペーンキャラバン
H27. 10. 29 (木) ～10. 31 (土)	東京都	いわて産直市 (上野駅)
H28. 2. 5 (金) ～2. 7 (日)	函館市	ココロぬくもる、ほっこり北東北 in 函館

(2) いわてウインターリゾート協議会事業

いわてウインターリゾート協議会事業費の一部を負担するとともに、いわてウインターリゾート上野駅キャンペーンに参加した。H27. 11. 17～18

(3) 各種キャンペーン支援事業

ア 観光関係催事への参加、出展

各種観光関係催事へ参加、出展し、観光PRを行った。

《主な対応状況》

実施日	場所	イベント名等
H28. 1. 12（火）～1. 14（木）	東京都	ふるさと祭り東京 2016

イ 後援、共催

「春の藤原まつり」（主催：（一社）平泉観光協会）ほか、50 イベント等に対する後援・共催を行った。



「ココロぬくもるほっこり北東北 in 函館」の様子



「ふるさと祭り東京 2016」いわて北三陸観光PRブースの様子

2 魅力ある観光地づくり支援事業

下記の4団体が実施した地域の特徴を生かした取組みを支援した。

支援先	事業内容等
八幡平インバウンドツーリズム誘致WS実行委員会	・講演会・ワークショップの開催 参加者 36 名
金田一温泉活性化プラン実行委員会	・座敷わらしの里 金田一温泉オフ会の開催 参加者 39 名
つなぎ温泉観光協会	・つなぎ温泉大感謝祭の開催（H27. 11. 9～15） 割引プランの販売、温泉入り放題、つなぎ温泉夕市等
一関温泉郷協議会	・いわて南牛共通食材腕自慢試食会の開催 ・上記料理をテーマとした宿泊プランの企画、販売

3 県外事務所観光振興支援事業

東京、大阪、名古屋及び福岡の大都市圏において、本県への観光客の誘致を一層促進するため、岩手県の県外事務所が実施する誘致宣伝事業等を支援した。

県外事務所	主な実施内容
岩手県東京事務所	観光宣伝用物品等購入費、日本旅行記者クラブ会議等負担金
岩手県大阪事務所	観光宣伝用物品等購入費、世界遺産観光展負担金
岩手県名古屋事務所	観光宣伝用物品等購入費、イベント出展協賛金
岩手県福岡事務所	旅情報誌「遊人」の岩手の旅特集記事作成に係る取材経費

4 （公社）日本観光振興協会への拠出金

同協会に対して、全国広域観光振興事業拠出金を負担した。

5 東北観光推進機構事業

同機構に会員として参画し、東北広域観光の振興を図った。

6 北東北三県観光立県推進協議会事業

同協議会が企画・実施する事業に会員として参画し、広域観光の振興を図った。

7 観光宣伝事業等負担

（公社）日本観光振興協会、岩手県空港利用促進協議会、みちのく五大雪まつり推進協議会、チャグチャグ馬コ保存会等の観光団体に対して負担金を支出した。

事業報告の附属明細書

公益財団法人岩手県観光協会の平成27年度事業報告において、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」はない。